



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 赤津 善宣  
幹事 山下 喜一  
SAA 富岡 幸広  
会報小委員長 鈴木 正人

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9  
○例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内  
TEL0246 - 62 - 3737

こころの中を見つめよう  
博愛を広げるために

第 2432 回 例会 平成 23 年 11 月 9 日 (水・曇)

2011 ~ 2012 年国際ロータリーのテーマ

## ゲスト

いわき明星大学

人文学部 現代社会学科

教授 鎌田 真理子 様

## ロータリーソング

— 今月はロータリー財団月間です —

4 つのテスト  
渡辺 勉 会員



## ◎会長報告 - 赤津善宣会長

皆さん、今日は。昨日は立冬で秋の寒さを感じるようになりました。天候不順の日が続いておりますが間もなくクラブ創立 50 周年記念式典が近づいておりますので体調には十分気を付けて頂きたいと思っております。それでは本日のお客様をご紹介致します。いわき明星大学人文学部現代社会学科教授鎌田真理子様です。後程「福島復興ビジョンについて」卓話を頂戴することになっております。宜しくお願致します。それから来週 16 日は 11 月 20 日の創立 50 周年に向けてリハーサルを行い最終の修正をしたいということで後程実行委員会より話があります。本日はゲスト卓話がございまして私からは以上で終了します。

## ◇幹事報告 - 山下喜一幹事

・ 11 月のプログラムをお配り致しましたが 11 月 30 日はクラブ協議会ではなくクラブ総会の誤りですので訂正して下さい。  
・ 先週もお話をしましたが国際ロータリー年次大会がタイのバンコクで開催されますが第 2530 地区国際奉仕委員長から参加のお誘いが来ております。第 2530 地区からは伊藤浩ガバナーエレクトが参加することになっておりますので奮って参加をお願いします。  
・ 東日本震災復興基金の補助金申請ですが対象条件と報告義務等が前回に比べ厳しくなっています。支援金については限度額が 210 万円となっております申請するクラブはプロジェクト基金の 30 パーセント以上

の持出し金を準備して下さいということです。  
・ 赤津会長宛に福島西ロータリークラブの河野坦司さんから全都道府県で 200 箇所のメークアップを達成しましたとお手紙を頂いております。なお、河野さんは 50 周年記念式典に参加予定です。  
・ 東京江戸川ロータリークラブの週報、いわき内郷ロータリークラブのプログラム、いわき平中央ロータリークラブの年次計画書と週報が届いておりますので回覧中です。  
・ 渡邊公平ガバナーノミニエポール・ハリス、フェロー、ベネファクターの認証と記念品が届いておりますので赤津会長よりお渡し致しますので前の方へどうぞ。



## ◎各委員会報告

### ◇出席委員会 - 峯口小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。なお、本日は出席奨励賞を差し上げたいと思います。富岡会員、後藤会員、富澤会員前の方へどうぞ。おめでとうございます。



## ◇スマイルボックス委員会 - 佐久間小委員長

・ 鎌田真理子様の卓話を歓迎して。児玉、渡辺 (勉)、金成、鈴木、荒川 (清)、濱沖、松崎、後藤、丹野、川中、岩元、佐久間、佐藤 (政)、高木、清水、鈴木 (雅)、佐藤 (英) 各会員及び渡邊公平ガバナーノミニエ、赤津会長、高萩会長エレクト、生駒副会長  
・ 出席奨励賞ありがとうございました。

富澤、富岡、後藤各会員

・ 前回例会休んでごめんなさい。 佐藤 (英) 会員  
・ 誕生祝いありがとうございました。 佐久間会員

## ◎ 50 周年実行委員会報告

### - 渡邊公平実行委員長



今月 20 日に予定されている創立 50 周年記念式典ですが各委員会のご協力を頂きやっと形が見えて参りました。来週の例会時にそのリハーサルを行います。その時に会員と令婦人の会費を頂戴出来ればと思います。現在の参加人数は 118 名でまだ未解答の方が 3 名います。来週のリハーサル宜しくお願いします。

## ◎ゲスト卓話

いわき明星大学

人文学部 現代社会学科

教授 鎌田真理子 様

### 東日本大震災といわきの復興についての地域活動状況について

本日はお招き戴きありがとうございます。また、このような機会を与えて戴き誠にありがとうございます。私は普段大学で授業をしている以外にいわき市内の在宅高齢者へ虐待は無いかな福祉サービスにきちんと繋がっているかどうか等を地域の民生委員さんから情報を受けて家庭訪問をして高齢者の方が地域社会で生活をして行けるようなサービスを提供したりあるいは様々な相談に応じて結果を出すことを目標にしている地域包括支援センターというのが市内の支所の中にあります。NPO

なのですが市役所の中に職員がいます。市役所の方達と地域包括支援センターの職員とで作った団体です。このお話を最初に話すのは震災の折に市内の在宅高齢者の方達の支援を行い市役所の皆様その他沢山の方から評価を得ています。しかし、今回の震災で課題となったのは地域で暮らす高齢者の名簿の不完全さの問題です。完全な名簿をどの団体も持っておらずこの震災をキッカケに今完全な名簿作りに取り組んでいます。次に緊急時の医療機関、福祉施設 (入所生活型) のバックアップ体制の重要性というのも課題として出て来ました。資料の 3 番の上に高齢者専用賃貸住宅と出ていますが、いわき市内特に南部を中心に高齢者専用賃貸住宅が随分出来ています。この小規模な高齢者専用賃貸住宅を経営している方達の支援体制が重要であったというのも今回の震災を目の当たりにして浮彫にされた課題であります。では福島県の復興ビジョンという 5 月のゴールデンウィークが明けた第 2 週目に復興ビジョン計画委員会が発足致しました。委員長が初回の会議の時に私達 11 名の委員にこんな問い掛けをしました。福島県の復興ビジョンを決める為にはまず原発を続けるか続けないのかを決めてからでないと前に進めないのではないかと言われました。今、福島県民の皆さんは相当傷ついていて、これ以上原発を続けることは県民の皆さんにとっては精神的にも日常生活を続けて行く上でも痛手になるということで全員一致で脱原発という考え方を打ち出しました。5 月の G 8 では菅首相がフランスパリへ行きました。その際に庶民向けのフランスデューという新聞でアプレ福島と紹介されました。アプレとは第二次世界大戦とか大きな事件や災いがおきた時に使われる言葉です。これが福島につけられました。アプレ福島と報道されてから G 8 が開かれ世界中に福島の負のイメージが流されました。福島県の復興の為にどんな考え方で行くのか話し合われましたがその中で一番多い意見が誇りを取り戻そうでした。また、原発避難地域には将来的にはアーカイブセンターを作り事故の詳細を展示して 2 度と原発の過ちをおこさないようにする資料館を建設しようという意見も出ました。  
また、子供達の被爆を防ぐ為の話し合いも出て、積算線量計を子供達へ配ることにしました。また、新エネルギー開発、人口減少の防止、放射線治療の向上等の意見についても話し合い動ける所から動いています。

## 出席状況

正会員数 55 名  
本日の出席率 68.75%

本日出席会員数 33 名  
修正出席率 81.25%